



# 認定特定非営利活動 (NPO) 法人 柔道教育ソリダリティー

Newsletter vol. 12  
Certified NPO – Solidarity of International Judo Education

①リサイクル柔道衣を使った練習(ペルー・ピウラ州) ②桜の下で事務局員と研修生(神奈川県・東海大学) ③研修生の壮行会(神奈川県・秦野市)  
④日中友好青島柔道館の子どもたち(神奈川県・濱名道場) ⑤村田正夫氏の柔道指導の様子(イスラエル) ⑥柔道教室の後ろで(ミャンマー・ヤンゴン)

## 国際的な柔道の普及—「自他共栄」を実現するために

— To promote the international popularization of judo and realization of *jitakyoei* (mutual prosperity for oneself and others).

現在、国際柔道連盟(IJF)には、200の国と地域が加盟しています。柔道は、一流競技者から一般市民に至るまで愛好され、各国の文化的特性と融合しながら創始者嘉納治五郎師範が掲げた「自他共栄」の実現を目指しています。

## 柔道を通して日本の心を伝え、様々な国との文化交流に役立てたい

— We communicate the Japanese spirit.

昨今の国際情勢を見ると、紛争やテロ、地球環境の劣化、南北格差の拡大、人口増加など問題が山積みされています。そのような状況の中、一部の発展途上国では柔道の指導者、道衣、畳、教材などが不足し、柔道を学びたくても学べない現状があります。柔道の国際的普及、振興に努めていきます。

## 今、大切なことは、子どもたちをいかにして育てていくか

— Educate youth through judo.

柔道を通して世界中の人々が心を通い合わせ、お互いの文化を理解することが「自他共栄」を実現することの近道と考えております。これからの社会を担っていく青少年を、柔道を通して育てることが大切であると考えております。



認定特定非営利活動法人  
柔道教育ソリダリティー

認定特定非営利活動法人

柔道教育ソリダリティー会報第12号

2012年9月1日発行 Published 1st of September 2012

発行人: 山下泰裕

発行所: 特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1

東海大学 体育学部 柔道研究室

Address : 4-1-1 Kitakaname, Hiratsuka-shi, Kanagawa

Japan, 259-1292

T E L : 0463-58-1211 (内線3524)

F A X : 0463-50-2230

Email : judo3524@keyaki.cc.u-tokai.ac.jp

Vol. 12

<http://npo-jks.jp>

柔道 友情 平和

検索

※柔道教育ソリダリティーは、2009年5月1日より国税庁の認定を受けました。本法人へのご寄付は、寄付金控除、損金算入などの税の優遇措置の対象になります。

## 研修生の受け入れについて



本法人では、昨年12月より5人の外国人研修生を受入れました。アフガニスタン出身のファヒマさんは、アフガニスタンの数少ない女性柔道選手です。アフガニスタンでは練習ができず、彼女はパキスタンで練習していました。彼女の受入れの経緯としては、本法人事務局が彼女に関する情報を新聞で入手したことでした。そこで、我々が何か支援できることはないかと考え、彼女と連絡を取ることを試みました。その後、是非来日したいという本人の希望を聞くことができ、今回の招へいが実現しました。彼女は、日本で半年間、一所懸命に稽古に励みました。

そして、ロシア出身のカーチャさん、フローラさんの女子柔道指導者2名を受入れました。ロシアの大統領プーチン氏の柔道の恩師にあたる方で、私の友人であるアナトリー・ラフリン先生から、「ロシアにも、技のみを追求した柔道ではなく、日本式の柔道を広めたい。若い優秀な指導者を日本に送るので、柔道の心を教えてもらえないだろうか？できれば半年ぐらい受け入れてほしい」と私に要請がありました。このような経緯で、2人の研修が実現しました。

また、昨年12月に1か月間、イスラエル、パレスチナ両国の若手指導者を同時に、本法人で受け入れました。日本に来て分かったのですが、エルサレム在住の彼らは、お互い10分もかからない距離に住んでいるということでした。1か月間の研修を終える頃には、「帰国したら道場を通して今後も交流したい」と会話を交わしておりました。このような交流は、前回までのイスラエル・パレスチナの2カ国の練習の中ではありませんでした。日本で研修を行い、共に時間を過ごす中でそういった思いが芽生えたように思いました。

このような支援を行うことができるのは、本法人の会員の皆さま、ご支援いただいている関係者の皆さまのおかげであると考えております。これからも会員の皆さま、多くの方々の協力を得て、可能なかぎり活動を展開してまいりたいと考えております。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

認定特定非営利活動(NPO)法人柔道教育ソリダリティー 理事長 山下泰裕



ファヒマさんに、本法人の修了証書、黒帯を贈呈しました

## 主な活動 (2012年1月～2012年6月)

- Major Activities -

年 月 日	内 容
2011年11月29日～2012年6月1日	アフガニスタン女子柔道選手ファヒマさんを受入(東海大学等)
2011年12月1日～2012年6月1日	ロシアの女子柔道指導者フローラさん、カーチャさんを受入(東海大学等)
2012年1月28日～2月6日	日中友好青島柔道館の子どもたちが来日(東海大学等)
2012年2月6日～16日	村田正夫氏をイスラエル・パレスチナへ派遣(イスラエル・パレスチナ)
2012年3月	リサイクル柔道衣がペルーに到着(ペルー・ピウタ州)
2012年3月	穴井亮平君が日中友好柔道館に関する調査結果を発表(東海大学)
2012年4月22日～27日	IAJR委員長マイク・カレン氏が来日(東海大学)
2012年4月	リサイクル柔道衣がインドに到着(インド・アッサム州)
2012年5月31日	2012年第1回理事会・第7回通常総会・第12回講演会を開催(東京・渋谷区)
2012年6月27日～7月3日	外務省文化・スポーツ交流ミッションで山下理事長らがミャンマーを訪問(ミャンマー)

※1 ミャンマー柔道連盟へTシャツを贈呈

※2 研修生に指導を行う橋本副理事長と山口輝義氏

※1 We presented T-shirts to the Myanmar Judo Federation.

※2 Assistant Executive Director Toshiaki Hashimoto and Mr. Teruyoshi Yamaguchi taught trainees.



1



2



# 日本の心、柔道を世界へ伝えるために

## 柔道用品(柔道衣・畳)の支援

2011年度は、柔道衣540着  
(4カ国・1地域)を送りました。

2011年12月に送付したリサイクル柔道衣各50着が、2012年3月にペルーピウラ州の柔道クラブ、2012年4月にインドアッサム州全アッサム州柔道連盟に到着しました。

Out of recycled judo uniforms that we sent in December 2011, 50 arrived at a judo club in Piura, Peru in March 2012 and 50 arrived at the All Assam Judo Association in Assam, India in April 2012.



### Republic of Peru

ペルー、ピウラ州のパイタ柔道クラブでは、青年海外協力隊の浦田太氏が活動を行っています。2012年2月に到着したリサイクル柔道衣50着は、翌3月に贈呈式を経てパイタ柔道クラブ、ピウラ柔道クラブを中心に地元の柔道クラブに配布されました。

#### 青年海外協力隊 浦田太氏からのメッセージを紹介します

青年海外協力隊の柔道隊員として、昨年柔道衣の支援をお願いさせていただきました浦田です。リサイクル柔道衣50着が2月末に無事到着し、3月18日に贈呈式を行わせていただきました。お礼共々ご報告の手紙を書かせていただきました。

柔道衣支援申請時に私は、ペルーのピウラ州のパイタという町で指導をしておりましたが、現在はピウラで指導をしています。今回支援していただいた柔道衣は、前活動地のパイタ柔道クラブと現活動地のピウラ柔道クラブを主としながら、その他ピウラ州にある他の道場へ配布させていただきました。

なぜこのような配布をしたかと言いますと、ペルーの国の状況なのか、ピウラ州が特別なのかは分かりませんが、こちらで生活してみて、各道場間に結束力といえますか仲間意識というもの、希薄であると感じたからです。

そこで、私の相棒でもあるピウラ柔道クラブ監督に思いを伝え、配布の意図を理解してもらう事に努めました。監督は、快く納得し多くの柔道クラブが集った贈呈式を実現することができました。贈呈式後は皆で合同稽古も実施し、各道場の先生方も1ヶ月か2ヶ月に1回でもこのような合同稽古したいと、今後の計画を立てることになりました。

柔道衣を支援していただいただけではなく、今回の柔道衣の支援がきっかけとなり、地域の柔道クラブの結束を深める事ができ、本当に感謝しております。

「精力善用」「自他共栄」の精神と正しい一本をとる技術を伝えること、残りの任期で全力で活動していきたいと思います。

山下先生はじめ光本様、小澤様、NPO法人柔道教育ソリダリティーの皆さま、柔道衣送付に関わっていただいた全ての皆さまに感謝いたします。ありがとうございました。活動及び己自身の人間修業がんばります。



リサイクル柔道衣を手にしたピウラ柔道クラブの子どもたちと浦田氏



柔道クラブの練習風景



### Republic of India

インド、アッサム州に到着したリサイクル柔道衣50着は、アッサム州柔道連盟に贈呈されました。アッサム州柔道連盟には、2009年に本法人で研修を行ったシャルマさんがコーチとして働いています。シャルマさんより、「いただいた柔道衣は、5カ所の町道場に配布し、皆で大切に使用します。そして、インド柔道の普及に使っていきます。NPOの皆さま本当にありがとうございます」とメッセージをいただきました。



柔道衣を受け取ったアッサム州柔道連盟の皆さん

子ども用  
リサイクル柔道衣  
を募集しています！



洗濯した柔道衣上下及び帯をセットにして、下記住所にヤマト運輸や佐川急便などの宅配便を使い、着払いでお送り下さい。

〒259-1292  
神奈川県平塚市北金目4-1-1  
東海大学柔道研究室内  
NPO法人柔道教育ソリダリティー事務局 宛

## 外国からの指導者・選手受入支援事業

2011年11月29日～2012年6月1日の期間、アフガニスタンの女子柔道選手ファヒマ・レザイさんが日本の柔道環境や柔道指導法を学びました。

Ms. Fahima Rezayee, an Afghan judo athlete visited Japan to learn the environment and the coaching method of Japanese judo from November 29, 2011 to June 1, 2012.

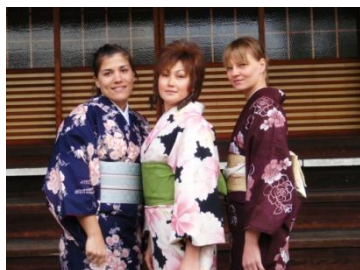
半年間の研修は、東海大学柔道部を中心に、相武館吉田道場（相模原市）、朝飛道場（横浜市）、濱名道場（大磯町）、東海大学ジュニアスポーツクラブ（平塚市）、望星学塾（武蔵野市）、静岡大学（静岡市）、飛龍高等学校（沼津市）、横須賀学院高等学校（横須賀市）、東海大学付属翔洋高等学校（静岡市）、伊勢原市中沢中学校（伊勢原市）にて研修をさせていただきました。主な練習プランは、東海大学体育学部光本健次教授に作成していただきました。東海大学での研修中は、柔道のみならず、日本語別科の先生方に、週3回～4回の日本語の特別授業をしていただき、日本語の勉強にも励みました。



研修を行った望星学塾の皆さんと(右下)



日本語を勉強中のファヒマさん(右)



京都で着物の着付けを体験しました(中央)

### Ms. Fahima Rezayee

### Afghanistan



NPO法人柔道教育ソリダリティーの会員の皆さま、これまでいただいたサポートに対し心から御礼申し上げます。世界的なレベルの東海大学柔道部で練習をさせていただいたことに対し、心から御礼を申し上げます。

名もないアフガニスタンの選手が国際レベルの練習環境をいただき、講道館の初段も取得することができました。アフガニスタンの女性柔道家として初めての講道館初段ですで大変光栄に思います。

素晴らしい国、日本に来ることができたことは、私には夢のような事でした。全てNPO法人の会員の皆さまや事務局の皆さまの支援によるものと考えております。そして、私を根気よくサポートして下さい、光本健次先生、東海大学柔道部の皆さま、トレーナーの皆さま、本当にありがとうございました。

今回、アフガニスタン柔道連盟は私をオリンピック選手として推薦しませんでした。これは、女子選手を推薦することよりも男子選手の推薦することを優先したためでした。このことは、とても私を傷つけました。私は、アフガニスタンを代表して女子選手としてオリンピックに出ることで、社会的に大変身分が低く扱われ、社会の底辺で生きざるを得ない多くのアフガニスタンの女性アスリートを勇気づけられると思っていたからです。

アフガニスタン柔道連盟とアフガニスタンオリンピック委員会が非常にアンフェアで最悪な決定をしたことで私のロンドン五輪へ出場が不可能になった知らせが届いたのは、私の最愛の母の死を知らせる電話の直前の事でした。この2つの知らせは、私に非常にショックを与えました。

しかし、私は日本の友人やNPO法人の皆さまに励まされ、少し時間はかかりましたが乗り越えることができました。この時、私は日本人の皆さまの他者を思いやる心を感じました。

最後に、皆さまにお願いです。アフガニスタンの女性アスリートたちは自分たちの国に夢と希望を持ちたいと毎日、一生懸命練習に励んでいます。これからもどうぞアフガニスタンの女性アスリートのサポートを宜しくお願いいたします。

## 教材制作事業

2011年9月8日～11日の期間、橋本副理事長らが中国・南京市「日中友好南京柔道館」で撮影を行った中国語版初心者用『柔道教則本(柔道入門)』が国際交流基金の助成金を受け完成しました。



教則本は、全面フルカラーで写真を多く使用し分かりやすい構成です

The Chinese version of the Judo Beginners' Manual, for which a team led by Assistant Executive Director Hashimoto went to China to take photographs at the Japan-China Judo Friendship Center in Nanjing during the period of September 8-11, 2011, has completed with a grant from the Japan Foundation.

2011年9月8日～11日の期間、橋本副理事長らが中国・南京市「日中友好南京柔道館」で撮影を行った中国語版初心者用『柔道教則本(柔道入門)』が発行されました。教則本は、国際交流基金より助成金をいただき初版第1刷発行として3000冊制作されました。中国語での初心者用柔道の教則本は、初めてということで、日中友好青島柔道館及び日中友好南京柔道館に配布され大変喜ばれました。今後は、この教則本の改正、日本語版及び他言語の初心者用『柔道教則本』の作成を行う予定です。



## 外国への指導者派遣事業

2012年2月6日～16日の期間、びわこ成蹊スポーツ大学の村田正夫准教授をイスラエル・パレスチナに派遣しました。

We dispatched Associate Professor Masao Murata of Biwako Seikei Sport College to Israel and Palestine during the period of February 6-16, 2012.



柔道指導を行ったイスラエルの道場にて、  
本法人で研修を行った2名も参加しました



講演を行ったイスラエルで柔道少年と握手



パレスチナでの柔道指導の様子

### びわこ成蹊スポーツ大学 村田正夫准教授からの報告です

特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティーからの要請を受け、2月6日から2月16日までの10日間、中東地域のイスラエルとパレスチナ自治区を訪問した。政治紛争が絶えない状況の中、イスラエル、パレスチナ自治区における柔道普及の支援、文化交流、異文化の理解など柔道の持つ特性を活かして相互の友好を深めることを目的に、柔道の技術指導や形の指導、乱取り稽古等を行いながら積極的に現地の関係者と交流を図った。

最初に訪れたパレスチナ自治区では、イスラエル領からパレスチナ自治区内に入るためのチェックポイントで通過許可が認められないといういきなりの洗礼を受けた。これまで様々な国を訪れたが、このような体験は初めてのことで、この地域の現状をまざまざと見せつけられた形となった。結局は迂回を余儀なくされ、宿舎到着が大幅に遅れ、午前3時を回ることとなった。

翌日よりパレスチナ自治区内ラマラ・ベツレヘム・エルサレム・ジェリコの各都市を回り、各地の柔道クラブやキャンプトレーニングに参加し、参加者や指導者と共に汗を流した。各地を訪問して感じたことは、道場には量がなく、スポンジ性のマットを使用していること、子どもたちの身体能力が高いこと、柔道の強化を図るための指導法が確立されていないこと、などが挙げられる。

安全面の確保には量が必要不可欠であり、レベルに応じた指導法が確立されなければ、情熱だけの指導では選手を育成することは非常に難しい。子どもたちの身体能力が高いだけにこの問題は何としても解決しなければならないと感じた。

訪問中はパレスチナ柔道連盟のハニ・ハラビ会長に大変お世話になり、多くの指導者との交流やパレスチナ・オリンピック協会長との懇談も実現し、充実した5日間を過ごすことができた。

一方、訪問6日目からはイスラエルに移動し、タルバス柔道クラブのデービット先生、弟のベニー先生の下でお世話になりながら、エルサレム市内のアクバン忍術アカデミー、タルバス柔道スクールを訪問し、柔道のデモンストレーションや技術指導を行い、またテルアビブ郊外におけるキャンプトレーニング参加など、どちらかといえば少年への指導を行った。

その間、空き時間を利用して「死海」やホロコースト記念館などを訪れ、イスラエルのスポットやユダヤの歴史に触れることができた。両地域を訪れ、感じたことはこの場所にはパレスチナの地を巡ってユダヤとアラブの対立が今でもなお続き、これからも続くであろうということである。しかし、本当に両者が協力してできることはないのだろうか。両者が手を取り合って発展していくことは不可能なのだろうか。そんなことを考えながら帰国の途についた。今、日本に戻り、一層その気持ちが強くなってきている。だからこそ、また訪れたい。柔道のすばらしさを確かめてみたい。

## 国際柔道研究者会(IAJR)

2012年4月22日～27日の期間、国際柔道研究者会(IAJR)委員長のマイク・カレン氏が、本法人と意見交換するために東海大学湘南校舎を訪れました。

Dr. Mike Callan, President of the International Association of Judo Researchers (IAJR) visited the Shonan Campus of Tokai University to exchange opinions with members of the Solidarity of International Judo Education during the period of April 22-27, 2012.



東海大学の授業に参加し、実際に指導を行って下さいました

国際柔道研究者会(IAJR: International Association of Judo Researchers)の委員長マイク・カレン氏が2012年4月22日～27日の期間、本法人と意見交換をするために東海大学湘南校舎を訪れました。カレン氏は今回、鹿児島県にある鹿児島大学から講演会の講師として招待され、帰国前に本法人を訪問して下さいました。

カレン氏は、東海大学体育学部武道学科の井上康生専任講師の授業を視察するだけでなく、自らも東海大学の刺繍の入った柔道衣に着替えて授業に参加されました。本法人が招聘しているロシア人指導者カーチャさんとフローラさんも参加し、授業は国際的なものになりました。

カレン氏は、ロンドン五輪で柔道競技の運営担当に就任されました。ロンドン五輪のために渡英した山下理事長は、カレン氏やIAJRの役員の方々と会い意見交換等を行いました。本法人はIAJRの設立以来、人的な交流を続けています。

IAJRホームページ <http://judoresearch.org>

## 第12回講演会

## 「柔道を通した日中交流を語る」

2012年5月31日(木)、東京・渋谷区のJICA地球ひろばにて、第12回講演会を開催しました。「柔道を通した日中交流を語る」の演題で、山下理事長が、本法人設立前の2005年の中国男子選手招へい事業や日中友好柔道館の開館から現状までを話しました。

The 12th lecture meeting was held at JICA Global Plaza in Shibuya, Tokyo on Thursday, May 31, 2012. Under the theme of "Talking about Japan-China exchange through judo," Executive Director Yasuhiro Yamashita spoke about a project that invited Chinese male players in 2005 before this NPO was established and the opening and the current situation of the Japan-China Judo Friendship Center.



JICA地球ひろばには、多くの聴講者が集まりました

2012年5月31日に、東京都渋谷区のJICA地球ひろばにて、第12回講演会を開催しました。2011年12月に『柔道を通した日露交流を語る』の演題で行われた第11回講演会の続きとして、『柔道を通した日中交流を語る』の演題で山下理事長が語りました。山下理事長は、本法人設立前の2005年からの中国男子選手招へい事業や青島及び南京の日中友好柔道館開設の話等、今日に至るまでの日中交流について話しました。

また、本法人の活動以外に、柔道の創設者嘉納治五郎師範が日清戦争後に清国から中国初の留学生を受け入れ、日本語、日本語文法などの教育をしたこと。これに続き、中国の教育の基礎を作るため、広東(かんどん)、南京(なんきん)、雲南(うんなん)、甘肅(かんしゅく)など各地から留学生を受け入れ、弘文学院を設立して約7,000人の留学生に教育を施し、中国の教育の基礎を作る人材を育成することに努力したことを話しました。



左から、フローラ・ミカタリアンさん(ロシア)、ファヒマ・レザイさん(アフガニスタン)、カーチャ・ブラウステヴァさん(ロシア)

講演の前には、2011年12月から本法人が招へいしているアフガニスタン人女子柔道選手、ロシア人女子柔道指導者が会員の皆さまに帰国挨拶を行いました。研修中のトレーニング計画及び指導研修プログラム等を作成、指導して下さった光本健次東海大学教授から講道館初段の段位証明書が授与されました。山下理事長からは、本法人の研修修了証書と黒帯が授与されました。山下理事長は、「帰国しても一度つながった絆は切れることはない。一度縁ができたのだから様々な機会で協力し合うことができる、少し距離は離れるけれど、心は近くにいる。共に頑張ろう!」と激励しました。



帰国挨拶を行うファヒマさん



研修修了証書を授与する山下理事長



段位証明書を授与する光本教授

## 柔道の国際的普及・振興に関する調査事業

中国の柔道クラブの指導方針とその効果について調査研究を行っていた東海大学大学院体育学研究科修士課程の穴井亮平君の修士論文が発表されました。

Mr. Ryohei Anai, a postgraduate in the master's course of Tokai University Graduate School of Physical Education, who has studied judo clubs' instruction policies and their effects in China, published his master's thesis.



日中友好南京柔道館で子どもたちに指導を行う穴井君



穴井君の修士論文(表紙)

穴井君の研究は、「中国の柔道クラブの指導方針とその効果」の題で、日中友好青島・南京柔道館の子どもの保護者の意識を調査することで、中国での柔道普及状況を明らかにすることを目的としています。穴井君は、2011年3月に日中友好南京柔道館、同年5月に日中友好青島柔道館を訪れ、質問紙法、練習観察法、面談調査等により調査を行いました。そして、2006年に行われている日本の同じ調査との比較も行いました。

結果を見ると、日中ともに精神の修養や健康づくりのために柔道を学ばせる保護者がほとんどで、柔道を学ぶことで礼儀や協調性、社会性を身につけてほしいと望んでいることがうかがえます。中国の保護者は、一番に柔道を通して体力がついてほしいと考え、日本の保護者は、礼儀が身に付いてほしいと考えている等の違いもありました。中国でのスポーツ振興のあり方は、一部の優秀選手育成から国民への普及を重視する方針へと転換しているそうです。穴井君も勝利思考から健康志向・教育面尊重への流れを指摘しています。本法人としても今後この調査結果を踏まえ、柔道普及の要因を調査していく予定です。



# 柔道で日本の心を世界へ伝えるために

## 日中友好青島友好館

2012年1月28日～2月6日、中国・青島市「日中友好青島柔道館」の子どもたち6人、父兄及び役員10人が来日し、東海大学望星学塾、濱名道場(大磯町)、秦野市立大根小学校を訪問し、日本の子どもたちと交流を持ちました。

Six children and 10 parents and officials from the Japan-China Judo Friendship Center in Tsingtao, China visited Japan during the period from January 28 to February 6, 2012. They made calls at Tokai University Bosei Gakujuku, Hamana Judo Hall in Oiso Town and Hadano Municipal One Elementary School to exchange with Japanese children.



山下理事長にプレゼントを渡す子どもたち



濱名道場では、地元の子どもたちと合同練習を行いました



濱名館長と青島柔道館の指導者たち

日中友好青島柔道館の子どもたちが2012年1月28日～2月6日の期間来日し、日本の子どもたちとの交流を持ちました。この交流事業は、今年で4回目となります。今回の訪問には中国国営テレビ局から取材スタッフも同行し、子どもたちの日本文化体験の撮影や山下理事長へインタビューを行うなどしていました。子どもたちは、東海大学柔道部の練習を見学、秦野市立大根小学校の訪問、濱名道場(神奈川県大磯町)及び望星学塾(東京都武蔵野市)で合同練習をさせていただきました。望星学塾では中学生の試合を見学させていただきました。帰国前には、東京ディズニーランドにも行きとても楽しんだそうです。日中友好青島柔道館指導者の王華さん、子どもたちの感想を紹介します。

### 日中友好青島柔道館 王華さんからの感想です

今年も青島柔道館の子どもたちと来日できたことを嬉しく思います。今回の来日には、中国国営テレビの取材クルーが同行し、青島柔道館の子どもたちの日本での交流をドキュメンタリーで撮影しました。

東海大学に着くと、山下先生、橋本先生、光本さん、小澤さんなどが優しく迎えて下さいました。子どもたちに、NPO法人のお話をして下さい、どのような経緯で私達と日本の皆さまと交流を持つことができるようになったのか、子どもたちも理解したように思います。

その後、昨年も見学に行かせて頂いた大根小学校に行きました。鈴木校長や望月先生等の大きな支援で、小学校の子どもたちと交流を持つことができました。皆さんから、歓迎の言葉と歌を聞き、小さなリクリエーションを行いました。子どもたちは、「日本の小学校は中国ほど大きくないけれど、整理がされていて綺麗だね」と話していました。

翌日には、濱名道場で稽古をつけさせていただきました。館長の濱名先生は、優しい中にメリハリのあるご指導で、子どもたちは良い緊張感の下、一所懸命に練習を行うことができました。また、指導者としての私にも濱名先生の指導法は勉強になりました。

東京に移動し、望星学塾の練習に参加させていただきました。望星学塾の子どもたちは、青島にも来たことがあります。友達との再会を喜び、身振り手振りでコミュニケーションを取る子どもたちを見ると、子どもの国際交流に国境や言葉は関係ないのかと思うほどでした。練習では、やや青島の子どもたちとレベル差が見られましたが、日本で自分達より強い子どもたちと練習をできたことは良い刺激になったようでした。

今回は、7日間という短い期間でしたが、全員怪我なく帰国することができました。このような交流の機会を下さった山下先生、橋本先生、行程の調整を行って下さったNPO法人の光本さん、小澤さん、そして、いつも多大なる支援を下さるNPO法人の会員の皆さま、道場を快く見学させて下さった濱名先生、貴重な時間を私達のために費やして下さい下さった大根小学校の皆さま、本当にありがとうございました。

### 赵家驹(チョウ・カークイ)

一番の思い出は望星学塾の人たちと柔道交流したことでディズニーランドに行ったことです。望星学塾の皆さんはきちんと並び、練習目的がしっかりあって、とても厳しいけれど誰も泣き言を言わないでまじめに練習していました。彼らは気持ちの切り替えも上手です。楽しく笑っていても急にまじめになります。私たちと試合をするときもそうでした。「失敗は成功の元」帰ったら彼らから学んだように練習して良い成績が取れるよう努力します。

### 张芮逢(ジャン・ルイフェン)

お会いしたかった山下泰裕先生、光本さんと会うことができました。そして日本の小学校を見学することができました。5年生の友達が勉強している内容は、中国の中学生くらいのものでした。ここで彼らと一緒にゲームをしてとても楽しかったです。

濱名道場に稽古に行きました。道場は小さくても習うことはたくさんありました。日本人と一緒に稽古している時、私は彼らがとても柔道を愛しているのを感じます。彼らは柔道を学ぶとき、一つの動作の練習から一つ以上のもの、その中にある文化を学んでいます。私たちの柔道の理解が足りなかったところでした。今回の日本柔道交流を通じて新しい発見があって、もっと柔道が好きになりました。



神奈川県大磯町の濱名道場の皆さんと

## 日露友好支援事業

2011年12月1日～2012年6月1日の期間、ロシアの女子柔道指導者カーチャ・ブラウステヴァさん・フローラ・ミカタリアンさんが東海大学を中心に日本の柔道環境や柔道指導法を学び、「和の心」「柔の心」に触れました。

Russian judo instructors, Ms. Katya Brausteva and Ms. Flora Mikatariyan learned the environment and teaching method of Japanese judo at Tokai University and other facilities from December 1, 2011 to June 1, 2012.



相武館吉田道場で審判の研修を行うカーチャさん



本法人ロシア交流担当の浅井信幸氏と



研修を行った濱名道場で館長の濱名先生、モンゴル人コーチらと



研修旅行では、広島平和記念公園などを見学しました



望星学塾では、橋本副理事長から研修をうけました

### Ms. Ekaterina Buravtsteva

Russia



日本研修での6ヶ月間では、嘉納治五郎先生が創設した柔道やその伝統的な背景を学ぶことは不可能でしたが、多くの事を勉強させていただきました。私にとって、日本のトップレベルの東海大学柔道部で柔道を学ぶことができたことを大変誇りに思います。柔道部の皆さまには、本当に多くの支援をいただき、柔道のトレーニングでは、全く新しい練習法も教えていただきました。

講道館で3週間にわたって行われた国際セミナーの参加は、私の生涯で忘れられない体験となりました。国際セミナーでは、世界一の寝技や固め技、柔道の歴史、日本の文化伝統等、そして柔道の技術を向上することができました。私はそこで素晴らしい日本の文化や伝統に出会いました。

柔道以外では、日本の各地を見学させていただきました。京都では、その歴史に触れました。広島宮島の世界遺産にも触れましたし、原爆博物館では心が痛むほど平和について考えました。福岡では、ロンドン五輪の選考大会を視察し、ロシアと日本の選手が対戦することを考えてしまいました！

今回の日本研修で、柔道を単なるスポーツとして捉えていた私の考えが変わったことを実感します。勝つため、金メダルをとるだけのものではなく、柔道は人生の道であり、哲学であると学びました。私は柔道で学んだことを指導者として活かせるよう努力します。

最後に、このような日本での研修の機会を与えて下さった山下泰裕先生、私達を家族のように受け入れて下さったNPO法人事務局の皆さま、日本でたくさんの事を学ぶことができました。心から感謝します。NPO法人の活動こそ、柔道の道が活かされている団体だと思います。本当にありがとうございました。

### Ms. Mkhitarayan Flora

Russia



山下泰裕先生をはじめ、NPO柔道教育ソリダリティーの皆さま、そして私のロシアの柔道の師、アナトリー・ラフリン先生の支援を受けて、充実した6ヶ月の研修を送ることができました。

研修中は、主に東海大学柔道部で練習を行いました。コーチの先生方や女子の選手たちはとても親切で、いつも私達をサポートして下さいました。様々なレベルの柔道や色々な年齢の子ども達を指導するために、多くの町道場や、大学を訪問させていただきました。

講道館では、昇段試験を受けることができ、初段に合格することができました。2012年4月からは、東海大学で柔道初心者指導している井上康生先生の授業のアシスタントも経験しました。井上先生のアシスタントをさせていただくことは、とても名誉のあることだと思いました。また、日本研修での練習環境の調整や指導をして下さった光本健次先生に大変お世話になりました。

私は日本の文化伝統、たとえば茶道、生け花も体験し、多くの日本の素晴らしい文化を通して多くのことを学びました。京都では着物を着る体験もしました。そして私たちがとても訪問したかった広島、福岡、熊本も見学させていただきました。

講道館の研修中には、柔道の誕生の地を訪問させていただきました。私は、大変興奮し柔道誕生の地で柔道をもっと学びたいとなりました。ロシアでは柔道を単なるスポーツとして捉えているコーチや選手が多くいます。私が最も尊敬する、日本の柔道を心から愛しているラフリン先生は、柔道は教育的なスポーツだといつもおっしゃっていました。私は、日本の半年間でそれを実感しました。帰国後は、柔道の教育的側面、柔道を通して学んだ事、多くの柔道仲間にも伝えていきたいと思っています。

ご存知かと思いますが、ラフリン先生は先日、再度就任したブーチン大統領の柔道の師です。大統領就任式の翌日、ブーチン大統領は、新しくできた柔道場で練習を行うロシアナショナルチームを訪ねました。そこで大統領は、「柔道は私の生活の一部である。人生の哲学である柔道をもっと普及させたい」と述べられたそうです。

最後に、素晴らしい研修環境を与えて下さったNPO法人の皆さまに、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



# 青少年を育てるために

## 柔道シンポジウム



山下理事長が外務省文化・スポーツ交流ミッションのメンバーとして2012年6月26日～7月3日までミャンマーに派遣されました。山下理事長は、柔道関係者及び現地日本人などを対象に柔道教室、講演を行いました。光本事務局長が同行し、本法人としてミャンマー支援のための視察を行いました。

Executive Director Yasuhiro Yamashita was dispatched as a member of Ministry of Foreign Affairs' Cultural and Sports Exchange Mission to Myanmar from June 26 to July 3, 2012. Secretary-General Keiko Mitsumoto accompanied the delegate and made an inspection for our project to support Myanmar. In Myanmar, we held a lecture meeting for local people involved in judo and Japanese people in the country.

### 光本事務局長からの報告です

2012年6月26日～7月3日の期間、外務省文化・スポーツ交流ミッションの一員として派遣された山下理事長に同行し、本法人のミャンマーでの支援などを検討しました。

2011年の3月の民政移管以降、ミャンマーでは民主化や国民和解が急速に進んでいます。世界中がミャンマーに注目する中、文化・スポーツ交流を通しミャンマーの国づくりに日本が貢献できるのかを探求したミッションでした。

ミッション派遣メンバーは、ミッション団長の白石隆氏（政策研究大学員大学学長）、矢内廣氏（びあ株式会社代表取締役社長）、道傳愛子さん（NHK解説委員）、コシノ・ジュンコさん（ファッションデザイナー）、石澤良昭氏（上智大学元学長）、田島高志氏（元ミャンマー大使）、加藤一隆氏（日本食レストラン海外普及推進機構専務理事）、西原鈴子さん（国際交流基金日本語国際センター所長）、山下理事長でした。日本において第一線で活躍している方々が、それぞれの専門分野の視察や助言をしました。



外務省文化スポーツ交流ミッションに参加した皆さんと



ミャンマー柔道連盟の皆さんと意見交換を行いました



（株）ユニクロよりご提供いただいたオリジナルTシャツを贈呈しました

柔道ミッションには、東海大学柔道部OBの渡辺和也氏（講道館の指導者外国派遣事業で2011年8月～11月ミャンマーで活動）も同行しました。山下理事長は、ミャンマー柔道連盟の役員の皆さまと柔道の普及や交流について意見交換を行いました。その中で、2013年にミャンマーがSEA Game (South East Asian Games: 東南アジア競技大会) のホスト国になることから、SEA Gameで良い結果が出せるよう具体的な支援の要請がありました。ミャンマー柔道連盟会長トウトウン氏は、SEA Gameで大きな成果を出すことの他に、将来のミャンマーの柔道普及を考え、人的及び物的（柔道衣や畳）支援を検討して欲しいと話されました。物的サポートについては本法人で検討し、柔道用具（畳・柔道衣）を用意することになりました。

次に講道館からお預かりしてきた柔道衣の贈呈式を行いました。講道館からの柔道衣50着はミャンマー柔道連盟会長にお渡ししました。



柔道教室には、ミャンマーの代表選手達が参加しました

その後行われた、山下理事長と渡辺和也氏による柔道教室では、皆さん熱心に講習を受けていました。

山下理事長は、6月28日～29日の期間、他のミッションメンバーと大統領と政府要人を表敬訪問するために首都のネーピドへ移動しました。その間、渡辺和也氏による柔道指導がヤンゴンで行われました。ミャンマーで柔道指導を行っていた渡辺氏が道場に入ると、皆さんから大歓声があがりました。渡辺氏は、マダガスカルでの柔道指導経験もあり、技の指導には多くの工夫が見られました。選手たちも渡辺氏に大きな信頼を寄せ、真剣に練習に励んでいました。

6月30日には、ミャンマーの柔道関係者、スポーツ関係者、ミャンマー日本人会等の約150人の前で「夢への挑戦」の演題で山下理事長が話しました。講演会に先立ち、在ミャンマー日本国大使館の丸山公使から流暢なミャンマー語で山下理事長をご紹介いただきました。

期間中に、メンバーの方々がミャンマーの報道関係者を対象に記者会見を開きました。来年、ミャンマーでSEA Gameがあるということもあり、柔道競技への期待からか、山下理事長への質問も多くなりました。ミャンマー国民のSEA Gameにかけた期待が見えた会でした。

山下理事長は世界の様々な国を訪問した際、日本人学校があれば訪問し、子どもたちとの交流を持っています。講演会に参加された日本人学校の先生の熱心なお誘いもあり、最終日にヤンゴン日本人学校を訪ねることができました。

短い間のミャンマー訪問でしたが、今回も多くの方々と知り合い、柔道を通じた交流ができたと思います。この場を借りて今回のミッション派遣で大変お世話になった国際交流基金の関係者の皆さま、在ヤンゴン日本国大使館の皆さまに、心から御礼申し上げます。

海外で、このような素晴らしい交流ができるのも、本法人の会員の皆さまのご理解とサポートのおかげであると今回のミッションに参加させていただき再確認いたしました。本当にありがとうございました。

本法人は、ミャンマーで開催される2013年SEA Gameのために、これからも支援させていただきたいと思っています。



「夢への挑戦」の演題で講演を行いました



ヤンゴンの日本人学校の皆さんと記念撮影

### ミャンマー文化・スポーツ交流ミッションに参加した渡辺和也氏の感想です

ミャンマー文化交流ミッションということで6月27日～6月30日の日程で山下泰裕先生と共にミャンマー柔道連盟を訪問しました。

私は昨年の2011年8月から11月までの4ヶ月間、SEA Gameへの強化ということでミャンマーのナショナルチームを対象に指導を行いましたので、選手やコーチ、連盟関係者とは約7か月ぶりの再会でありました。

選手たちとの再会は本当に嬉しく、皆の元気な姿を見て、ミャンマーで指導していた日々を思い出し、胸が熱くなりました。

柔道連盟を訪問した初日は、柔道衣の贈呈式を行い、選手たちの練習を視察した後、山下先生に実技指導をして頂きました。大外刈りと大内刈りを軸に、実戦で使える技術を伝授して頂き、選手たちも大変興味深く熱心に聞いていたようでした。

ミャンマーの選手たちは素直で真面目、みんな一生懸命練習に取り組んでいます。その姿勢は技術的にも性格的にも日本の柔道家と近いところがあります。それは、ミャンマーが今まで日本人柔道専門家を招いて強化を行ってきた、というのが大きな背景の一つでもあります。過去に何人もの日本人指導者から指導を受けていることもあり、ミャンマーの柔道選手は東南アジアの中では非常にレベルの高い位置ににいると思います。しかしながら、選手たちは試合や遠征などで国外に出る機会が少ないために、自国で強化を行っています。

昨年のSEA Gameでは男女6名ずつ、計12名が出場し、9つのメダル(金メダル1、銀メダル6、銅メダル2)を獲得しました。12名中7名が決勝に進出したのですが、金メダルを獲得できたのはわずか1名でした。他国の選手と比べて、国外での試合や遠征に参加するという経験が圧倒的に少ないことからの結果の表れではないかと思います。最近でこそ少しずつ国外に出る機会が増えてきたようですが、それでも他の国と比べると国外経験が断然少ないのが現状です。

そういった点を踏まえ、山下先生は、「試合での駆け引きを身に付けることが必要だ」と話されていました。それには、厳しい練習を積みただけでは駄目で、他国での試合や練習を通して経験を積んで行くことが大切だと話してくださいました。

2013年のSEA Gameはミャンマーで開催されます。ミャンマー国内でも国民が柔道選手たちに寄せる期待は大変大きいと聞いています。開催国として、ミャンマーの選手たちが一つでも多くの金メダルを取れるように、山下先生もミャンマーの有望選手を日本に招待したり、学生をミャンマーに派遣するといったことを考え、今後実践して下さるとのことでした。これを聞いて私も大変嬉しく思いました。

今回、この文化・スポーツ交流ミッションを通してミャンマーを再訪できたことは、私にとって大変ありがたいことでしたし、今大きく変わりつつあるミャンマーでこういった機会を頂くことができ、とても嬉しく思います。また、ミャンマーの柔道家たちと大きな絆を結ぶことができ大変感謝しています。どうもありがとうございました。

2013年のミャンマーSEA Gameの成功を祈っています。



山下理事長と技の見本を見せる渡辺氏



柔道教室に参加したミャンマー柔道連盟タンマン氏と渡辺氏、光本事務局長



柔道教室後は、ミャンマー柔道連盟の皆さんと会食しました



## 今後の予定

### 外国への指導者派遣事業



2012年8月～9月、橋本敏明副理事長、山口輝義氏をグアムに派遣します。

Assistant Executive Director Toshiaki Hashimoto and Mr. Teruyoshi Yamaguchi are going to be dispatched to Guam from August to September 2012.

### 外国からの指導者受入事業



イスラエル・パレスチナの柔道指導者を受入れます。

We will receive a visit by instructors from Israel and Palestine.

### 柔道教室



望星柔道ジャンボリー大会、望星旗少年武道大会(柔道の部)、塾友杯柔道少年大会を支援します。

We support Bosei Judo Jamboree, Boseiki Junior Martial Arts Championships (Judo category) and Jukuyuhai Junior Judo Championships.

### 学生ボランティア



2012年8月～9月、学生ボランティアをグアム及びミャンマーに派遣します。

We will dispatch student volunteers to Guam and Myanmar during the period from August to September 2012.

### 講演会事業



2012年12月、第13回講演会を開催します。

The 13th lecture meeting will be held in December 2012.

### 日露友好支援事業



2012年12月よりロシア人女子指導者を受入れます。

We will receive a visit by female instructors from Russia in December 2012.

## お知らせ



### ロンドンオリンピック

本法人で受入れました研修生4名がロンドンオリンピックに出場しました。



南アフリカ代表  
VAN ZYL, Gideon



ガーナ代表  
NARTEY, Emmanuel



セネガル代表  
DIEDHIOU, Hortance



インド代表  
CHAUDHARY, Garima

Four trainees admitted by the Solidarity of International Judo Education participated in London 2012 Olympic Games. Report on their results will be provided.



本法人で支援を行った4名の選手が各国代表としてロンドンオリンピックに出場しましたが、残念ながら皆さん初戦敗退でした。これからは柔道を通して日本との架け橋となるよう本法人でも支援していきます。

### 最新活動は、ホームページをご覧ください！

ホームページでは、柔道教育ソリダリティーのバックナンバー講演録・会報誌を無料でダウンロードすることができます。印刷物でご要望の方は、事務局0463-58-1211(内線3524)までご連絡下さい。

<http://npo-jks.jp>

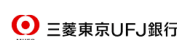
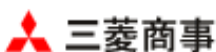
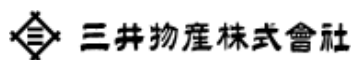
### 本法人へ寄附をされた神奈川県民の皆さまへ

本法人へ寄付をされた神奈川県在住の県民に対して個人県民税の控除を受けられるようになりました。

個人県民税控除額:(寄附金の合計-2,000円)×4%

詳しくは、県税事務所まで

## 2012年度 寄附・団体会員一覧 — Supporter —



三井物産(株)、(財)秋元国際奨学財団、(学)東海大学、ミズノ(株)、三菱商事(株)、(株)セレモアつくば、羽田タートルサービス(株)、アスカコーポレーション(株)、(株)わくわくコーポレーション、東建コーポレーション(株)、(株)神田製作所、(株)ランクアップ平野屋、全日本空輸(株)、(株)小松製作所、大成建設(株)、三井住友海上火災(株)、(株)東芝、秀和ビルメンテナンス(株)、(株)三菱東京UFJ銀行、(株)ファーストリテイリング

(株)アサヒ、(株)アシックス、(株)アットライズ、植木会計事務所、(株)S・Yワークス、(株)オカモト印刷、(株)小倉屋柳本、(株)オネスト、(学)加計学園、(株)霞ヶ関東海倶楽部、(有)角川インベストメント、奈川柔道連盟、川中不動産(株)、共和電子(株)、京王観光(株)、(株)廣洋、相模トリアム(株)、(株)三技協、(株)鈴廣蒲鉾本店、(株)成通、総合警備保障(株)、(株)ダイナミックスパースンズ東京、(株)築地すし好、(株)東海教育研究所、東海教育産業(株)、東海大学付属相模高等学校、公益財団法人 東京都柔道連盟、(医)徳真会グループ、土志田建設(株)、(株)豊蔵コーポレーション、(医)白磁会中ノ島センタービル歯科、(株)博報堂DYメディアパートナーズ、早川繊維工業(株)、(株)富士サービス、(株)マツヒロ、丸竹コーポレーション(株)、(有)みのさんファーム、武蔵野市柔道連盟、医療法人社団 明正会、(株)メディカルラボ、(株)ユーミーネット、横浜市柔道協会、(学)了徳寺学園、(株)レイクウッドコーポレーション

(50音順)

個人会員に関しては、ホームページ中の協力者の紹介をご参照下さい。

<http://npo-jks.jp>

	個人	団体
正会員	250	41
寄付	23	18
アドバイザー	33	

## 入会のご案内

柔道教育ソリダリティーは、2009年5月1日より国税庁の認定を受けました。本法人への寄付は寄付金控除、損金算入など税の優遇措置の対象となります。本法人の活動は、皆さまからのご寄付、ご支援によって運営されています。本法人の趣旨にご賛同の上、ご協力いただけましたら幸いです。

会員 (個人) 一口 5,000円

(団体) 一口 50,000円 ※一口以上から受け付けます

寄付 特に定額はありません

■ 郵便振替 口座記号番号:00200-7-37175 加入者名:特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー

■ 銀行振込 三菱東京UFJ銀行 平塚駅前支店 普通口座1573953

口座名称:特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー 理事山下泰裕

横浜銀行 東海大学駅前支店 普通口座1768726

口座名称:特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー 理事山下泰裕